

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：課長 中島 威夫

事業名	一般国道17号 六日町バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局
起終点	自：新潟県南魚沼郡塩沢町大字竹俣 至：新潟県南魚沼郡六日町大字庄之又		延長		5.1 km

事業概要

一般国道17号は、東京都から新潟市に至る延長約430kmの主要な幹線道路であるほか、地域の社会経済活動を支える重要な路線である。六日町バイパスは、六日町市街地を迂回しJR上越線との立体交差を含む延長5.1kmの4車線道路である。

H6年度事業化	H5年度都市計画決定	H10年度用地着手	H12年度工事着手	
全体事業費	約300億円	事業進捗率	17% 供用済延長	
計画交通量	22,600台/日		0.0km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 3.0	総費用 (残事業)/(事業全体) 189/243億円 (事業費: 170/224億円) 維持管理費: 19/19億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 575/575億円 (走行時間短縮便益: 496/496億円) 走行費用減少便益: 49/49億円 交通事故減少便益: 30/30億円	基準年 平成15年

事業の効果等

- ・安全な生活環境の確保（死傷事故率が500件/億台走行以上との区間において安全性の向上が期待できる）
 - ・生活環境の改善・保全（夜間騒音要請限度を超過している市街地の騒音レベルの低下が見込まれる）
- 他7項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

六日町バイパスは、交通混雑の緩和、沿道環境の改善等の重要な役割を果たすことが期待されており、六日町をはじめとする関係5市18町5村の首長で構成される中越地区国道事業促進協議会より早期整備の要望（平成15年7月7日）を受けている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

郊外大型店等の進出等により交通量が増加し、交通混雑が深刻化している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

早期効果発現のためのバイパス中央部の先行整備区間については用地買収を概ね終了し、埋蔵文化財調査に着手している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成10年代後半には、先行整備区間の暫定2車線供用を予定しており、残る区間についても交通状況を勘案しつつ、引き続き完成供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

コンクリート構造物の大型化（長尺化）・プレキャスト製品の積極的な活用、建設発生土の有効活用等コスト縮減を考慮している。

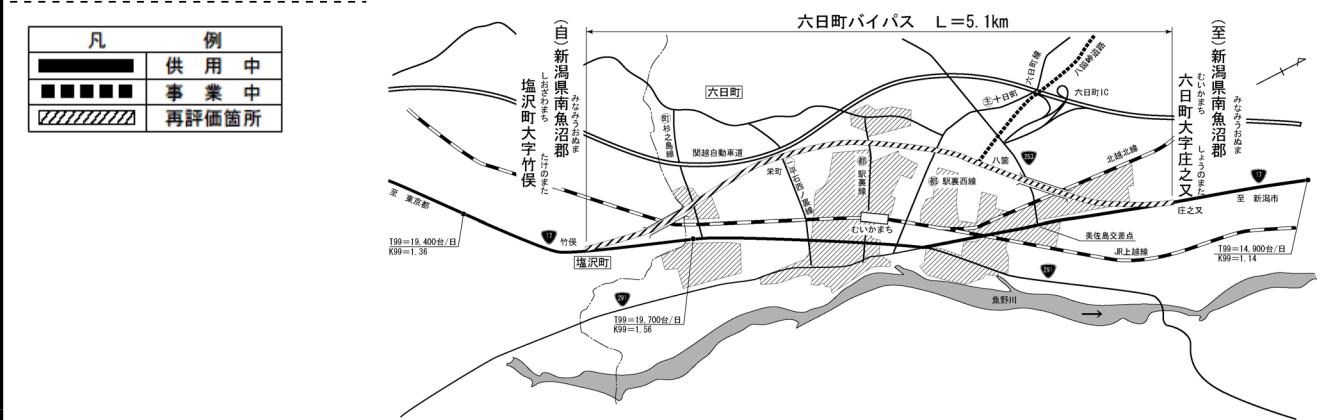
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。